

# からはーい



マグルビー総領事  
八月踊りにて



## ご挨拶

沖縄に関する新たな発見を楽しむ日々であります。政治の展開、経済の流れ、そして文化の深さを常に興味深く観察していますが、県内外で沖縄パワーの強さを感じます。9月上旬にワシントンDCで行われた沖縄県のソフト・パワー発信事業は本当に、感動いたしました。私は沖縄にいて参加できませんでしたが、ほぼ同じ時に私にとりましては未体験の沖縄文化を味わっておりました。多良間島の八月踊りを見に出かけましたら、何と出演まで！正に、沖縄の新たな発見の旅となりました。北大東島のお神輿を担いでから一年、沖縄文化の幅の広さや奥の深さには限りがないという思いを改めて感じています。

文化も多様ならば、人々もそうです。アイディア豊かな県民の皆様との幅の広い交

流を楽しみながら、学ぶことが多いです。多様な考えや個性で成り立つ国際社会の一員として、大切なのは常に対話すること、そしてバランスを尊重する人間関係の構築だと思います。

多くの若者との対話の中で、私は沖縄のよき発信者となることを彼らに促しています。例えば、短期留学で渡米する前に、沖縄のことをどう説明するか、どう相手に印象付けるかを考えるように薦めています。そうした彼らの声が、ひいてはグローバル社会に大きく貢献する沖縄の声となるのです。私は毎日が学びの機会だと考えています。県民の皆様には引き続きたくさんの方の交流を通じて、多くのことを教えて頂きたいと存じます。

ゆたしく・うにげー・さびら。

## 領事館のキャラクター“ワシんたん”誕生

かねて公募しておりました領事館のキャラクターが決まりました。県内外から100件近い作品が集まり、ご応募頂いた皆さまに心より御礼申し上げます。ワシんたんからのメッセージをお届けします。

やあ、みんな はじめまして！ぼく、ワシんたんです！アメリカという国の首都であるワシントンDCで生まれたよ。お母さんは先生で、お父さんは航空宇宙博物館でツアー・ガイドをしているんだ。兄弟はいないから、どこに行ってもすぐに新しいお友達をつくるよ。

ぼくの町は世界中からいろいろな人たちが遊びに来てくれるから、最高なんだ。

ある日、石垣島から来たワシ君から「沖縄はとってもキレイなところだよ」と聞いて

さっそく、飛んで来たんだ！

ここでは観光するのが大好きで、カチャーシーと三線も習っているよ！ぼくの好きな食べ物はりんごとお寿司。そして好きな飲み物はルート・ビア。好きな沖縄の歌は“ていんさぐぬ花”だけど、ロックンロールも大好きだぜ、イェーイ！ちょっと怖いものは台風と竜巻……。

趣味はいろいろな国の言葉を覚えることと、世界中を飛び回ること。パタパタとね！ぼくの夢は、世界中のみんながぼくの国アメリカに遊びに来て交流をしてくれること。アメリカが気に入ったなら、ぜひ学校にも通って英語を勉強したり、たくさんお友達をつかって欲しいな～。ワシんたんを見かけたら必ず声をかけてね。新しいお友達はいつでも大歓迎さ♪

[次頁へ](#)

### 目次:

<a href="#">ご挨拶</a>	1
<a href="#">領事館マスコット“ワシんたん”誕生</a>	1
<a href="#">沖縄県ソフトパワー事業</a>	2
<a href="#">主席領事ごあいさつ</a>	3
<a href="#">TOMODACHI-MetLife Women's Leadership Program</a>	3
<a href="#">ビザ免除プログラムについて</a>	4
<a href="#">4コマ漫画&amp;お知らせ</a>	5

## 沖縄県ソフトパワー事業

領事館の広報部は8月末に出張のために米国入りをしていまして、沖縄県の主催するソフトパワー事業を目にする機会を得ましたので、米国の首都であるワシントンDCでの沖縄県の素晴らしい活躍について勝手ながらレポートさせて頂きたいと思います。

県のソフトパワー事業の大きな目的は「沖縄の文化や自然、歴史、平和を希求する心を沖縄のソフトパワーとして発信し、人々の共感を得ることで沖縄に対する理解、認知度を高めていくこと、そして“交流と共生”、沖縄の持つソフトパワーを活用しながら、国際社会の一員として、世界の人々と共に未来を創造していきたい」とのことです。

この事業目的に基づき、沖縄県は9月上旬にワシントンDCにおきまして沖縄県の文化等を発信するイベントを開催しました。まずは沖縄週間と題し、9月2日～9月12日にかけて在ワシントン日本大使館の日本広報文化センターにおいて沖縄のショートフィルムや映画の上映会を開催しました。上映前には泡盛カクテルを観客に振舞う「泡盛カクテルナイト」を行うなど、味覚・聴覚・視覚の全てから沖縄をアメリカ人に感じてもらえるような工夫が随所になされていました。上映会はその映画も超満員で、英語の字幕を追いかけながら笑いが起こったりと、多くの方が楽しく沖縄の文化に触れている様子が伝わって来ました。

続いて日本大使公邸で開催されたレセプションでは、沖縄の食材を使用した料理の数々が並び、踊りや空手等の伝統芸能が披露され、招待を受けた米国省庁や文化団体の関係者らに強く、沖縄を印象付けていました。

また、9月6日にはケネディ・センターにて沖縄の空手や演舞の公演会を開催しました。ケネディ・センターはキャロライン・ケネディ駐日米国大使のお父様であるジョン・F・ケネディ大統領を記念して建設された施設で、ワシントン・ナショナル交響楽団の本拠地であるとともに様々なジャンルの公演が開催され、全米から多くの人々が訪れます。沖縄県の公演は約500人を収容できるホールでの開催となりましたが、ホールの外には会場に入りきれない150名以上の人が並ぶ列が出来ると、大変な人気でした。

エイサーや獅子舞などの楽しい楽曲の時には観客が一体となって盛り上がり、空手の演武の際には場内がシーンと静まり返って見守るなど、存分に沖縄の魅力をアピール出来たのではないかと思います。県民の皆様にも、あの伝わった！という確かな手ごたえと感動を一緒に体感して頂けなかったのが残念ですが、異国米国の地であれだけの公演を大成功させた県庁関係者の皆様に大きな拍手を送りたいと思います。

周囲の人々に感想を聞くと、迫力があつた。時間が全然足りなかつた、もっと見たかつた、という絶賛の嵐でした。公演が終了してからも出演者の方々と写真を撮ったりするためにロビー付近が混雑し、大変な人気ぶりを感じる事が出来ました。

沖縄県の皆さんの米国での文化発信事業の頑張りを在沖米国総領事館も微力ではありますが、応援させて頂きたいと考えております。GO OKINAWA！ チバリヨー沖縄県！



日本文化センターでの映画上映会



日本大使公邸でのレセプション

## 主席領事からの挨拶



ニコルズ主席領事の歓迎会にて泡盛マイスターズ協会の皆さまが泡盛カクテルを作ってくださいました。

こんにちは！ 私は在沖米国総領事館主席領事のジェニファー・ニコルズです。政治・経済・軍事を主に担当しています。今年、7月に沖縄に着任しましたが、国務省に入省したのは2003年で2003年から2007年にかけて、ジャマイカとベラルーシ(Belarus)で勤務しました。そして2007年にはワシントン DCの国務省に戻り、国務長官のもとで働きました。2008年には、ちょうどブッシュ政権からオバマ政権に移る時期にホワイトハウスで勤務した経験もあります。とても面白かったですよ！ 2009年に国務省へ戻って、北朝鮮問題に関する仕事をしました。そして2011年には出産と育児のために1年間休職し、2012年からアメリカと横浜で日本語の勉強をして、7月に家族ともども沖縄に着任しました。2人の子供がいます。3歳の女の子と5ヶ月の男の子です。

こちらの総領事館に勤務したことのある同

僚から、こちらのことをよく聞いていましたし、非常に人気のあるポストだけに、この度赴任できたことをとても喜んでます。沖縄は楽しい場所が多いので、週末はいつも忙しいです。例えば、海が好きなのでよくビーチに行きます。アラハビーチや、美ら海水族館にも行きました。あとは砂辺を散歩したり、レストランに行ったり楽しく過ごしています。また新しい食べ物を食べるのも大好きですから、沖縄の料理を食べるのも楽しみにしています。実は沖縄の料理の作り方も学ぶつもりです。泡盛も美味しいですね。沖縄はとても綺麗な所ですし、また、沖縄の方々は、本当に大変親切でいつも“おもてなし”の気持ちが強くとても気に入ってます。3ヶ月前に着任したばかりですが、もうすでに3年の期間は短いと感じています。

イッペーニヘーデービル！



セッションの様子

## TOMODACHI-MetLife Women's Leadership Program

2年目に入りましたTOMODACHI MetLife Women's Leadership Programですが、今期から沖縄でも開催出来ることとなりました。在沖米国総領事館の呼びかけに答え、県内から応募して頂いた皆様の中から選出された14名が参加して行われています。

2014年6月～2015年2月の期間において、リーダーシップ育成のプロから自身の成長、リーダーシップ育成、ネットワーク形成スキル、ファイナンスの管理能力育成などのトピックに関連した5つの講義を受けることとなります。またこのプログラムの特徴は「メンターシップ」制を活用している点で、

やる気のある女子大学生と中堅・若手女性リーダーがペアを組み、お互いに刺激を受け合いながら共に成長していく機会を提供しています。

学生メンバーは更に2015年3月に財界リーダーや政府関係者、非営利団体のリーダーに会い、アメリカの大学生とディスカッションを行うためワシントンD.C.とニューヨーク市に招かれる予定になっています。

講義はオール・イングリッシュで行われ、職場での女性活用の促進とともに国際社会で活躍する人材の育成にも力をいれています。



回数を重ねるにつれ、学生の皆さんの英語にもより自信がついてきているようです。

[1頁目に戻る](#) / [次頁へ](#)

## ビザ免除プログラムについて

皆さんがアメリカに旅行にいらっしゃる際には「ビザなし」で旅行される方がほとんどなのではないでしょうか？ビザ免除プログラム(VWP)は日本を含む特定の国籍の型が米国に渡航する場合、有効なパスポート、往復または次の目的地までの航空券、乗船券を辞書時し、渡米目的が短期の商用や観光であれば、ビザなしで米国に90日以下の滞在が可能となるプログラムです。

下記の条件を満たせばビザなしで米国にご旅行いただけます。

VWPパスポートの要件を満たし、且つ有効なパスポートを所持していること

電子渡航認証システム(ESTA)により渡航認証が承認されていること

米国での滞在期間が90日以下であること

渡米目的が：

- ・商用、取引先との会合、科学、教育、専門、ビジネス分野の会議への参加、財産の処理、契約交渉
- ・観光／旅行、休暇、娯楽、友人や親族の訪問、休養、治療、同窓会や社交、奉仕活動など、及び報酬を判わない音楽やスポーツなどイベントあるいはコンテストのアマチュア参加
- ・通過・米国を通過する

往復または次の目的地までの航空券・乗船券を所持していること。電子チケット(e-チケット)の場合は入国地で移民審査官に提示できるよう旅行日程のコピーをお持ちください。注：最終目的地がメキシコ、カナダ、バミューダ、カリブ諸島の場合はそれらの国の合法的居住者でなければなりません。

DHSと協定している[VWP参加航空会社または船会社](#)で渡航する。

注：個人所有や公用の飛行機・船舶には適用されません。

ESTAの申請サイトは<http://esta.cbp.dhs.gov/esta> です。ESTAの認証を取得するためにはサイト上にて5つのステップを終了していただく必要があります。

1. 申請書の入力
2. 申請書の送信
3. 申請番号の記録
4. ESTA費用の支払い
5. 審査結果の表示

ESTA認証は2年間の有効です。ESTAに関する情報は

<http://japanese.japan.usembassy.gov/j/visa/tvisaj-estageneralfaq.html> をご覧ください。

ESTA認証はご旅行の計画を立てられ次第申請するようお勧めしています。

年末が近くなるにつれ、ご旅行される予定を立てていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか？ご旅行の前にもう一度、ビザ免除プログラムに関しての情報のご確認をお願い致します。



## 離島視察



## お知らせ

### 講演会

#### 「スタートアップのためのアート&サイエンス」

2014年11月14日(金) 14:00～16:00

浦添市産業振興センター・結の街 3階研修室

詳細:

<http://www.nahacci.or.jp/ufile/evt/321.pdf>

オンライン申込

<https://business.form-mailer.jp/fms/81b3f3ba36699>

### アメリカ留学相談会

アメリカ大学・大学院留学について詳しく知ろう！

2014年11月15日(土) 13:00～16:30

琉球大学 地域国際学習センター301教室

詳細・お申込:

[http://www.fulbright.jp/study/event/sodan\\_f.html](http://www.fulbright.jp/study/event/sodan_f.html)

[1頁目に戻る](#)



### 在沖繩米国総領事館

〒901-2104 沖縄県浦添市当山2-1-1

<http://japanese.naha.usconsulate.gov/>



[ニュースレター「からはーい」一覽](#)